

雲南病院だより

リウマチ・膠原病外来を始めました

平成24年12月より、「リウマチ・膠原病外来」を新設しました。
 診察日は毎週木曜日の午前10時から午後3時までで、場所は整形外科外来で行っています。
 一部予約制です。診察希望の方は、お気軽にお問い合わせください。
 (☎0854-43-2390 病院代表)

担当する医師の紹介をします

石部 陽二 医師 (日本リウマチ学会専門医) 昭和25年2月2日生

- S50年 岡山大学医学部卒、第3内科入局
- S50~52年 松山市民病院で研修
- S57年 医学博士授与
- S52秋~S55春 岡山大学第3内科研究室で関節リウマチの臨床、基礎研究、臨床研究に従事
- S55春~H24.10 東広島西条中央病院勤務。リウマチ膠原病の診療、二次救急医療に従事
- H24.12 雲南市立病院のリウマチ・膠原病外来診療に従事

看護研究発表会を開催しました

平成24年12月15日、平成24年度看護部看護研究発表会を開催しました。この看護研究は、「今、提供している看護が、患者さんにとって満足してもらえる看護なのか」という考えから、看護の質の向上と患者さんのQOL(生活の質)の向上を目的とし長年取り組んでおり、各病棟の代表者が日頃の看護現場から問題や課題を見つけ約1年をかけて研究を行います。指導者には、島根県立大学看護学部長の吉川洋子教授と、同大学看護学部の三島美代子准教授をむかえ、専門的かつ広い知識をもって熱心にご指導いただきました。今年度をもって指導の任を終えられる吉川教授には6年間という長きにわたりお世話になり、この間、当院の看護現場に対するご理解と看護の質の向上に大変ご尽力い



▲発表の様子

ただきました。当日は、感謝の言葉とともに花束を贈りました。
 今年度は6部署が研究発表を行いました(研究内容は下表のとおり)。また、奥出雲病院の看護師の方々にも来場いただき当院の研究内容を紹介しました。近隣の病院と情報を提供し合える場となり大変有意義な研究発表会となりました。今後も継続した研究を行い、この研究の成果や課題を看護現場に生かしていく所存です。

▼研究内容一覧

部署	研究内容
2階病棟	弾性ストッキングによる皮膚トラブル防止のための患者指導の効果
3階西病棟	助産師による退院後哺育指導の効果
3階東病棟	看護師が子育てと仕事を両立させるための支援と工夫の実態
4階西病棟	DNRと意思決定した家族のニーズ
透析室	透析患者へ自己管理行動の改善に対するコーチングスキルを用いたアプローチの効果
研究チーム	看護研究者が必要とする看護研究委員からの支援



▲吉川教授、三島准教授を囲んだの集合写真



▲全員で合唱する様子

院内クリスマスコンサート

平成24年12月17日、院内でクリスマスコンサートを行いました。これは、病院職員有志で結成している音楽友の会「サウスクラウドアンサンブル」が、入院患者さんへむけて毎年行っているコンサートです。夕食を終えた患者さんや、またその家族の方などたくさんの方が来場され、クリスマススムードに飾った会場の中で、音楽を楽しんでいただきました。

今年はテーマを「希望・勇氣・平和」とし、雲南市内で活躍されているハーモニカチーム「雲南チェリーズ」さんをお招き、「いつでも夢を」、「長崎の鐘」の2曲を素敵にハーモニカの音色で披露されました。そのあとはサウスクラウドアンサンブルによるハンドベル・独唱・合唱・楽器演奏を披露しました。途中、「雲南チェリーズ」さんのハーモニカをBGMに病院事業管理者サンタやトナカイが、来場者に歌詞カードを配り、会場内のみならずクリスマスソングの歌「赤鼻のトナカイ」や「きよしこの夜」を合唱しました。短い時間ではありましたが、入院患者さんにとってクリスマスを感じてくれるひとときとなったことと思います。



▲病院ボランティア「てごっ人」による会場設営



▲ハーモニカチーム「雲南チェリーズ」さんによる演奏

その他多くの飾りを持ち寄ってとても素敵な会場にしてくださいました。また、「てごっ人」のみなさんには入院患者さんの車椅子介助等も手伝っていただき、住民と患者、職員が一体となったコンサートになりました。

入院小児と院内保育所園児へクリスマスプレゼントを！

平成24年12月25日クリスマスの日、当院恒例のクリスマスイベントを開催しました。これは、25日に入院されている小学6年生までの小児患者さんや誕生された赤ちゃん、院内保育所の園児を対象にクリスマスプレゼントを届けるものです。サンタクロースとトナカイの登場に、やや緊張した様子の子どもさんでしたが、しだいに笑顔も見られ一緒に記念写真を撮ったりしました。入院患者さん3人のうち2人は当日退院され、帰宅後家族そろってクリスマスを迎えられたことでしょうか。



▲院内保育所でプレゼントを贈るサンタ

う一人の患者さんはクリスマス当日誕生された赤ちゃん、おめでとございました。院内保育所では、突然のサンタ登場にびっくりして泣き出す園児や保育士から離れない園児、それでもしっかりとプレゼントを受け取ってくれる園児などいろいろな表情をみせてくれました。

院内サロンふれ愛

2・3月の開催日：
 2月8日(金)・22日(金)
 3月8日(金)・22日(金)

時間：午後1時30分から3時30分
 場所：雲南市立病院 南棟2階
 ドック検診室

お気軽にお越しください。

問い合わせ先：
 健康管理センター保健推進課
 ☎0854-43-3602

使用する消毒液（次亜塩素酸ナトリウム溶液）の使用場所と作り方

	0.1%消毒液	0.02%消毒液
使用場所	おう吐物や便	調理器具・床、トイレのドアノブ・便座・衣類の消毒（汚染の強い場所）
作り方：例 次亜塩素酸ナトリウム約5%液（家庭用塩素系漂白剤）*	ペットボトルのキャップに軽く3杯の次亜塩素酸ナトリウム液を入れ、水道水で500mlに希釈し使用します。	ペットボトルのキャップに軽く2杯の次亜塩素酸ナトリウム液を入れ、水道水で2Lに希釈し使用します。

ペットボトルの蓋の用量は、5mlです。原液が手につかない様に、ここでは“軽く3杯（10ml）”“軽く2杯（8ml）”と表現しています。

※家庭用塩素系漂白剤とは……キッチンハイター など

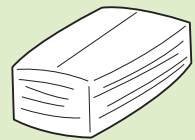
準備するもの

おう吐物や便を片づける時は、マスク、ビニール手袋を使いましょう。



その他：長靴やエプロン（ガウン）等

ペーパータオルなど消毒液を浸すことのできるもの



おう吐物や便またはそれらで汚染されたものを密封できるもの



おう吐物や便の取扱い

注意：おう吐物は、想像以上に広範囲に飛び散っています!!



おう吐物や便が飛び散った床など

おう吐物や便のまわりに、片付ける以外の方が近づかないようにしましょう。おう吐物は想像以上に広範囲に飛び散っていますので、床等の消毒の場合は、後で消毒できる長靴を着用します。

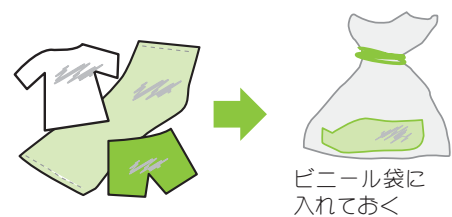


0.1%消毒液を浸したタオル等で、周囲から包み込むように静かにぬぐい取ります。使用したタオル等は、すぐにビニール袋へ処分します。



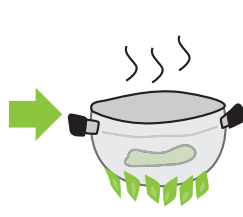
拭い取った後の床等は、0.02%消毒液で拭きます。想像以上にウイルスが飛び散っていますので、周囲を広範囲に消毒しましょう。10分程度放置後、消毒部分を水ぶきします。

おう吐物や便が付着した衣類・シーツ・タオルなど



ビニール袋に入れておく

おう吐物や便が付着していれば、0.1%消毒液を浸したタオル等で取り除いておく。そのタオル等は、ビニール袋に入れ、捨てましょう。



85℃ 1分以上の加熱または、0.02%消毒液に30分以上浸漬した後他の物と分けて洗いましょ。高温の乾燥機を使用すると消毒効果が高まります。

おう吐物や便が付着した布団・ベッドなど

すぐに洗濯できない物は、よく乾燥させ、スチームアイロンや布団乾燥機を使用すると効果的です。

作業に使用した手袋・マスク・長靴などの消毒

消毒作業に一度でも利用した手袋、マスク、ガウンまたはエプロン等は、汚染された表面部分に触れないように外し、ビニール袋に密封し、捨てるか、きちんと消毒して再利用しましょう。

雲南市立病院建設基本構想について

雲南市立病院では、雲南市立病院建設基本構想を策定しました。策定に当たりましては、市民の皆様から大変貴重なご意見・ご提言をいただきありがとうございました。基本構想につきましても、雲南市及び雲南市立病院のホームページにおいて公表しておりますのでご覧ください。

【公表先】

- ①雲南市ホームページ <http://www.city.unnan.shimane.jp/>
- ②雲南市立病院ホームページ <http://unnan-hp.jp/>

面会時間変更のお知らせ

平成25年1月1日より、面会時間を変更しました。

面会時間：午前7時から午後9時まで

今後とも面会時間厳守にご協力いただきますようお願いいたします。



ノロウイルスについて

～予防から排泄物等の取り扱いまで～

雲南市立病院 感染防止委員会

現在流行しているノロウイルスについて、簡単な知識を紹介します。

ノロウイルスとは……

感染性胃腸炎や食中毒を引き起こすウイルスの一属。カキなどの貝類の摂食による食中毒の原因になるほか、感染したヒトのおう吐物や便、あるいはそれらが乾燥したものでから出る塵埃を介して経口感染します。

ノロウイルスの主な3大症状

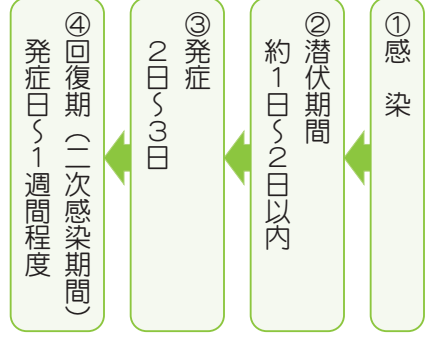
- ①発熱（初期症状で微熱が大半）
- ②嘔吐・下痢症状
- ③腹痛（さすような痛み）



症状が出てもあわてないで!!

嘔吐や下痢、発熱はノロウイルスによる代表的な症状ですが、2～3日程度で症状は徐々に回復し、重症化するケースはまれです。

ノロウイルスの潜伏期間



感染を防ぐポイント

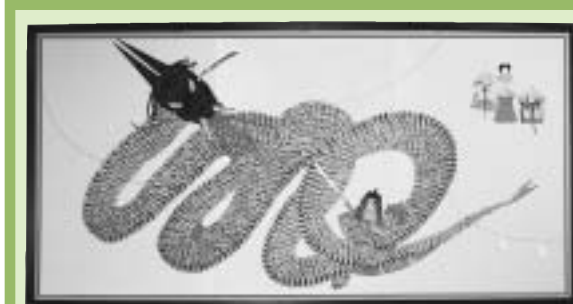
- ①感染予防の最も有効な対策は手洗いです。調理の前、食事の前、トイレの後、おむつ交換の後などには、必ず石けんで十分手洗いをしましょう。
- ②手洗いの後、使用するタオル等は清潔な物を使用し、共用は避けましょう。
- ③二枚貝は、中心部まで十分に加熱（85℃1分以上）してから食べましょう。

発症した時の注意

- 脱水症状がおきないように水分をとりましょう。
- ＜赤ちゃん・小児＞
 - 湯冷まし
 - イオン水
- ＜中高生・大人＞
 - お茶、湯冷まし
 - スポーツドリンク
- ★水分は少しずつ回数を多めに摂取します。
- ★胃腸に負担をかけない飲み物であればOKです。
- 食事は無理して食べる必要はありませんが、脱水を予防するために水分補給を心がけることが大切です。

に加熱（85℃1分以上）してから食べましょう。④生鮮食品（野菜・果物など）は十分に洗浄しましょう。⑤手指や調理器具などの洗浄消毒を確実にしましょう。⑥調理する人は、下痢や風邪症状に似た症状がある時は食品の取り扱いに従事しないようにしましょう。

展示コーナーのご紹介



展示者：大東おりづる会 作品：「正月」



展示者：山崎英子さま、山崎昌子さま 作品：「松江 堀川めぐり」